



卒論発表会の様子



挑戦する気持ちを

大切に

校長 爲計田 ひろみ

本校の新しい年は卒業論文発表会から始まります。これは、「農業大学校の教育の特徴の一つである「プロジェクト学習」の成果をまとめ発表するものです。

学生自らの問題意識から課題を選んで、計画を立て、実践し、課題解決を図っていきます。今年も、就農時に導入したい新しい作物の栽培に挑戦したり、現地で問題となっていることを聞き取り解決をねらったりと様々な課題に挑戦しました。

自分が興味あることについて自ら動き、解決できた時の達成感は、次への行動の原動力になります。現実には、うまくいかないことも多いのですが、失敗から学ぶことは多いです。解決したことから、中身も役立ちますが、その過程が大切です。特に、五感を使って「よく観察すること」、「記録をすること」、併せて「面白い」「やってみよう」という挑戦する気持ちこそ身に付けてほしいものです。

我々の研究の成果です!!

卒業論文発表会開催される

1月14日、卒業論文発表会を開催しました。本校では、学生が自ら設定した課題の解決を図る「プロジェクト学習」を教育の柱にしています。そのプロジェクト学習の成果を、養成課程の2年生19名がそれぞれ発表しました。

校内審査で金賞に選ばれた富田さん、銀賞の嶋田さんは、学校代表として、中国四国ブロック農業大学校プロジェクト発表会にも出場しました。そこで、嶋田さんは優秀賞を受賞し、2月に東京で開催された全国プロジェクト発表会で、中国四国ブロックの代表3名のうちの1名として発表を行いました。

金賞

富田 夏江
(作物コース)

卒業後は親元就農する予定なので、父と何度も相談しながらプロジェクトを進めてきました。金賞を受賞し、私はもちろん、父もとても喜んでいました。農大生活の最後に最高の思い出ができました。



銀賞

嶋田 雅峻
(野菜コース)

1年次に栽培したパプリカをテーマにプロジェクトを行いました。受賞できるとは思っていませんでしたが、銀賞をいただき大変うれしく思います。



銅賞

文村 権彦
(果樹コース)

私は、卒業後就農します。プロジェクトでは、今後の農業経営に導入予定の内容をテーマとしました。今回の結果を参考にしながら、安定した経営を目指して努力します。



校内意見発表会開催される

12月1日、意見発表会を開催しました。農業大学校へ進学を決めるに至った経緯や将来の就農に関する事など、農業に対する想いや日頃の学習を通じて考えていることなどについて、1年生20名が発表しました。

花きコースの室さんは、学校代表として、1月21日に岡山県笠岡市で開催された中国地域農業大学校等意見発表会でも、堂々と発表を行いました。

(校内意見発表会の受賞者)

- 最優秀賞 花きコース 室 慧佑さん 「農家になるということ」
- 優秀賞 果樹コース 幸野 将大さん 「やりがい・生きがいとしての農業に向けて」
- 優秀賞 野菜コース 東 進寛さん 「父親へのラブレター」
- 優秀賞 作物コース 入江 夏菜さん 「農業の魅力」

発表要旨



中国地域農業大学校意見発表会・本校代表 室 慧佑 (花きコース)

私は将来、花を栽培する農家になりたいと思っており、そのために今自分が何をすべきか考えてみました。

まず、これから自分が農を志す者として成長するために、先生や現場の農家さんの言葉を大事にし、自分のものにしていくことが大切だと思います。私が農家研修で実際農家さんから言われた言葉としては、雑草に関する言葉や、作業をする上で大切なことなど、農家としての心得のような言葉が多いように感じています。新しい言葉に触れることは自分の力になることと確信しています。

今後も多くの人と出会い、多くの言葉を胸に刻み、より多くの品目に触れ、私は農家としての人生を一度しかない人生を楽しみたいと思っています。

研修科からのお知らせ

研修の内容が大幅に変わります

平成27年度から新規就農者（雇用就農を含む）の育成確保のために、次のとおり研修内容が大幅に変わります。

①アグリチャレンジ研修（公共職業訓練）の新設

産業人材育成センターの委託訓練（職業訓練）として、雇用就農・自営就農を目指す離職者等を対象に**3か月間**の基礎的な農業研修を新設します。

雇用保険等を受給しながら、無料で研修を受けることができます。

基本的な農作業の技術を中心として、農業の基礎的知識、栽培実習等も学んでいただきます。次のステップ（雇用就農・就農のための先進農家実践研修）につながる研修とします。

平成27年度は**11月と2月**に開講予定で**各20名**の研修生を募集します。

②先進農家実践研修の新設

アグリチャレンジ研修の修了者で**自営就農を目指す方**を対象として、先進農家に12か月間派遣し栽培技術、農作業、経営ノウハウ等を研修していただく**先進農家実践研修**を新設します。**平成27年度は2月**に開講予定で**5名程度**の研修生を募集します。



③短期研修科の改編について

アグリチャレンジ研修、先進農家実践研修の新設に伴い、短期研修科のコースを改めます。**平成27年度**は移行期間として**3か月コース**を4月、7月の2回、**12か月コース**を4月、10月の2回開講します。12ヶ月コースは、個別指導を中心とし、ほ場を個別に担当し**模擬経営を体験する**等内容の充実を図ります。

私たち今、旅立ちます

祝卒業



2年生からは、1年生に対するメッセージを、また、1年生からは卒業生に向けて、エールやお祝いの言葉をいただきました。

2年間の楽しかったこと、とても苦しかったこと、悩んだこと……いろいろありました!!



卒業生からのメッセージ

2年間という長いようで短かった学校生活で、様々なことを考え学んできました。2年間、様々なことをご指導くださった先生方、一緒に作業してくださった研修生の皆さんには感謝の言葉しかありません。1年間、共に同じ寮で過ごしてきた1年生の皆さんは健康に気をつけ、新たな1年生と共に笑顔で1年間を大切に過ごして、学校生活を満喫できる事を期待しています。

果樹コース



1年生からのメッセージ

1年間という短い間でしたが、2年生の皆さんには専攻実習や学校生活などで大変お世話になりました。専攻実習では、能率良く作業を進めておられる様子など、お手本になるような事が多く、とても勉強になりました。1年生は色々ご迷惑をおかけしたと思いますが、優しく接して下さったり、時には厳しく指導して下さったりありがとうございました。2年生の皆さんがいなくなるのは寂しいですが、科長を中心に先輩達に負けなくらい、元気で明るくて楽しい果樹コースをつくっていきたいと思います。

卒業生からのメッセージ

1年生の皆さんとは専攻授業と一緒に農作業をしてきて、今年の新入生は僕たちが1年生の時に比べ、積極的に先生方や先輩に分らないことを聞いたりアドバイスを受けているなどと思っていました。また、1年生の皆さんと行う実習は楽しく、野菜コースはいつも賑やかな雰囲気でした。来年度もまた楽しく活気のあるコースにしてください。

野菜コース



1年生からのメッセージ

2年生の皆さんご卒業おめでとうございます。先輩方は農作業の要領を僕たちにとっても丁寧に教えて下さいました。また、熱心に作業する姿はたいへんカッコ良かったです。イカした皆さんのように僕たちも先輩に指導できるように頑張ります。今までありがとうございました。

花きコース

卒業生からのメッセージ

2年間の学生生活いろいろなことがありました。最初の驚きは、花きコースの学生が自分1人だったことです。正直辞めたいと思っていた時期もありましたが、先生や仲間の支え、2年生となり後輩が出来たことで、徐々に楽しく感じる面も多くなり、充実した学生生活を過ごすことが出来ました。農大で学んだことを今後社会で活かしていきたいと思えます。



1年生からのメッセージ

ご卒業おめでとうございます。学生生活と違い社会に出ていろいろと悩むこともあると思いますが、花きコースで学んだことを思い出して、これからも頑張ってください。

畜産コース

卒業生からのメッセージ

入学当初すごく緊張したのを覚えています。長いと思っていた2年間はあっという間に過ぎていました。しかし、貴重な体験と将来に生かせる知識を学びました。今後は、今まで学んだことを活かし進んでいきたいです。1年生はあと1年充実した農大生活を送り、また、新1年生にしっかり引き継ぎして頑張ってください。



1年生からのメッセージ

2年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。社会人として、色々大変だと思いますが、皆様の前途に幸福があることを心から願っています。

作物コース

卒業生からのメッセージ

先生方の指導の下、農作業の苦楽を存分に味わえた2年間でした。有り難うございました。地域の方々との交流の中でなかなか学生では出来ない経験をさせてもらって良い思い出になりました。これからは新2年生を中心に農大の伝統を守り、悪しきは改め、一人一人の個性が輝く素晴らしい学校にしてください。



1年生からのメッセージ

この度は、ご卒業おめでとうございます。米作りを知らなかった僕たちに、先輩方はイロハを教えてくださいました。今度は、僕たちの番です。先輩方が教えてくださったように、僕たちが後輩に教える番です。今まで、ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。

研修科



4月開講12ヶ月コース研修生(野菜専攻)

短期研修を受講して良かったと思う事は、一軒の農家では作付けしきれない様々な作物や栽培様式、作型を体験できた事です。また、研修で一緒にした皆さんとは貴重な時間を共有した仲間として就農後もよろしくお願ひします。

全国農業大学校等プロジェクト発表会

全国農業大学校等プロジェクト発表会が2月13日に東京都内で開催され、中四国ブロック代表として出場した本校の嶋田雅峻さんが、養成課程の部で優良賞を受賞しました。

嶋田さんはパプリカのハウス栽培の技術改良に関する研究を行い、日射量の少ない当地でも果実着色が良くなる手法を見だし、有利な経営が可能となることを示しました。

〈発表を終えて……嶋田雅峻さんのコメント〉

鳥取農大からの全国大会出場は今回で7年連続となりました。記録を伸ばす役目が果たせて大変嬉しく、また、ほっとしています。後輩の皆さんのこれから始まるプロジェクトのご成功と次年度も大会出場が叶いますよう祈念しています。



「モンゴル中央県の農業研修員が農業研修を修了」

9月30日からの2か月間、モンゴル中央県職員デンベレルドルジ・ドルゾドマーさんが来県し、農業生産技術と指導力向上のため、農業研修を行われました。研修中は野菜コースの学生と共に、担当のキュウリの他様々な野菜の栽培方法を実習された他、修農祭などの行事に参加して学生と親睦を深められました。帰国後は生産者を指導する立場でご活躍です。



修農祭の準備にて、学生と共に白ネギなどの収穫調整を行いました。写真中央がドルゾドマーさんです。

講義は一般の方にも受けていただけます（聴講制度）

農業大学校では、一般の方にも講義を受けていただける「聴講制度」があります。著名な講師を招いて開催する「オープンカレッジ」（年4回）や地元先進的な農業者のお話をうかがう「実践農業者講座」（年4回）の他にも、学生が日常的に受けている一般講義にも出席いただくことができます。農業に関心のある方が、広く知識を身につける事ができる良い機会ですので、多くの方にご利用いただきたいと思います。希望される方は、農業大学校のホームページから実施予定をご確認ください。専用の用紙をダウンロードして申し込む事ができます。電話でお問い合わせいただいても結構です。



プロのデザイナーにパッケージデザインを学びました。（オープンカレッジの一場面です。）

雇用就農の情報提供にご協力をお願いします。

近年、非農家出身の学生が約6割を占める中、青年就農給付金など色々な就農支援制度が整備されていますが、二十歳そこそこの自営就農は非常に困難なことであり、非農家出身学生が自営就農した例はごくわずかです。そうした中、最近では農業部門の求人を多くいただくようになり、雇用という形で就農する学生が増えています。

雇用就農に係る情報がありましたらお知らせいただくとともに、学生や研修生との情報交換・相談会も開催する予定にしていますのでよろしくお願いします。情報交換会については、改めてホームページ等でお知らせします。



H26年の情報交換会での相談風景